



# 地元の素材で和紙作り



地域を学ぶ	●	地域でつながる	—	地域に還す	—
-------	---	---------	---	-------	---

## 1 学習プログラムの展開

日程	場所	学習内容
平成 31 年 1 月 19 日 (土) 10 : 00 ~ 12 : 00	協和公民館	<p>○趣旨, 目的, 流れなどの説明</p> <p>○楮 (こうぞ) を切る。 ・鎌を使って楮を切る。</p> <p>○楮の皮をむく ・蒸した楮の皮を熱いうちにむく。(なるべく一枚の皮になるように)</p> <p>○紙を漉く ・はがきサイズの和紙が作れる簀桁(すげた)を使って紙を漉(す)く。</p> <p>○振り返り</p> <p><b>【和紙ができるまでの工程】</b></p> <p>①木を刈り取る②蒸す③皮をむく④皮の表面を削る⑤水にさらす⑥煮る⑦再度水にさらす⑧ごみをとる⑨繊維をほぐす⑩とろろあおいを水に浸す⑪紙を漉く⑫漉いた紙を積む⑬水気をとる⑭乾かす</p>



対象	小学生・保護者
経費	参加費 300 円
連携先	府中明郷学園, 地区女性会

問  
合  
せ  
先

府中市協和公民館  
府中市木野山町 48-1  
電話 0847-68-2121

ファクシミリ 0847-68-2121

## 2 講座設定の理由（学習の目的）



- 集落が谷間に位置し、土地も狭く稲作が発展しにくい中で、産業として江戸時代から和紙作りに取り組んでいる。地域の産業を伝えると共に特産品について学んだり、製作体験をしたりすることで地域への愛着を深める。

## 3 学習目標



- 子供たちと地域住民との結びつきの強化
- 子供たちの自主性・協調性の育成
- 伝統文化の継承

## 4 事前に必要な知識や準備物



- 説明資料（和紙づくりの流れを示したもの）
- 原料（楮）や和紙作りの道具（簀桁）

## 5 留意点



- 子供が対象なので長時間にならないようにする（長くても3時間程度）。
- 鎌を使ったり、皮を剥いたりする活動をさせるため、安全面に配慮する。

## 6 成果



- 小学校では総合的な学習でも取り組んでおり、積極的に質問をするなど意欲的に参加していた。
- 子供たちは鎌を使ったり、和紙を漉いたりするなどの普段できないことを体験することができた。
- 子供たちが和紙作りの看板を作成し、寄贈してくれた。
- 地元の産業であった和紙作りを体験することで和紙に興味をもち伝統文化の継承につながっている。

## 7 課題



- 小学校の授業との連携で公民館を活用しているが、この活動をきっかけにして普段から公民館に来てもらえるようにしていく。（5つの公民館に対して小学校が1つなので厳しい面もある）
- 保護者の送迎がないと事業への参加が難しい。

## 8 今後に向けて



- 今後も小学校と連携をとりながら進めて行く。
- 将来的には和紙を生かしたランプシェードなど発展的なものを作成していきたい。